

MULTIPLEX

TUCAN 組立て補助説明書

※当説明書はキットに同梱されている各国語版の説明書のイラストを参照しながらお読みください。
各国語版の「GB」のページ(P12～19)が英語表記です。イラストは、(P30～39)です。

この度はマルチプレックス社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ラジコン飛行機は取り扱いを誤ると本人、及び他人に危害を及ぼす可能性がある事を忘れずに最大限の注意を払い、飛行をお楽しみください。また必ずラジコン保険に加入し、万一の事故に備えてください。

警告 注意 安全のための確認

- 1)本機体は安定性の高い機体ですが、全くの初心者の方の単独飛行は困難です。
必ず経験者の指導のもとに機体の点検と飛行練習を受けてください。
- 2)各フライト前には必ず各部を慎重に点検してください。
モーターとプロペラの取り付け、翼の取り付け状態、重心位置の確認、各舵の動作状況、無線機のチェック等、安全に配慮した機体の点検を怠らないでください。特に飛行場に到着した時や激しい着陸の後は翼がズレたり搭載物が移動している可能性があります。
- 3)動力用のバッテリーを接続する前に必ず送信機のスイッチをONにし、スロットルコントロールスティック等がOFF状態にある事を確認してから機体側の動力用バッテリーを接続してください。
上記の手順を守らなかった場合、バッテリー接続と同時にモーターが回転してしまい危険な状態になります。モーターのスピードコントローラーの取り扱いにも熟知しておいてください。
- 4)機体を持つ時は受信機スイッチのON-OFFに関わらず、プロペラに触れないように保持してください。
突然のプロペラの回転に注意してください。
- 5)機体を手投げする時は人に向けてはいけません。人を背後にした向きで手投げしてください。
飛行中は人や建物、動物に向けて飛行させてはいけません。
- 6)飛行後のモーターは高温になります。必ずモーターが冷えてから次の飛行を行なってください。
熱いうちに飛行させますとモーターの寿命が短くなり、パワーが低下します。
モーターの温度を確かめるときは火傷に注意してください。
- 7)当製品の性格上、フライトにおける損失・事故等には一切保障を致しかねます。
- 8)当製品は製品の性質上、飛行後における初期不良はお受けすることができません。

●キット内容物のチェック

各国語版の説明書P30～31のパーツリストに沿って欠品がないかご確認ください。
もし欠品や破損品がある場合は ハイテックマルチプレックスジャパン迄ご連絡下さい。

・スペアパーツにつきましてはp61～62をご覧ください。

●推奨搭載メカなど

・送信機: Aurora9、または 4ch以上の他メーカーの送受信機
・受信機: Hitec OPTIMA 7 重量17g
Hitec OPTIMA 9 重量22g

●・サーボ: 各動翼サーボ Tiny S × 4 前輪操舵用サーボ Tiny S MG × 1
注意 キットに付属します。

●パワーユニット ・キットに付属します。

- ・モーター: Motor HIMAX C 3528-1000 (1000KV)
- ・プロペラ: 12×6
- ・スピードコントローラー Regler MULTIcont BL-55 S-BEC (55A)

- 動力用バッテリー: 付属 バッテリー Li-BATT FX 3/1-3200 (M6)
3セル 3200MAh NO 157373

・オプションパーツ

パイロット ジョニー NO. 733352

パイロット ジミー NO. 733351

LED セット NO. 73020

●機体データー

- ・全長 1110mm
- ・翼長 1300mm
- ・重量 1850 g
- ・翼面積荷重(FAI) 58 g/dm²
- ・フライトタイム 8~10分

●接着剤

当製品の素材はELAPOR Formです。EPPに似てシンナー溶剤に溶けにくい性質がありますがわずかに溶けます。ELAPOR Form同士の接着には中粘度または高粘度の瞬間接着剤と硬化促進剤を使用してください。あるいはEPP専用接着剤を推奨します。硬化して固くなるエポキシ接着剤はあまり適しません。

墜落の激しいショックで剥離する場合があります。これを防ぐ為には接合面の表面を削り落とす意味でサンディングをして表面を荒らすと接着剤が染み込み、効果的です。硬化しても多少弾力のある接着剤の方が有効です。

ELAPOR Formと成型プラ部品の接着は中粘度の瞬間接着剤(プラ側)と硬化促進剤(ELAPOR Form側)が有効です。ELAPOR Form側は硬化促進剤を塗布する前にエンジンシンナーで表面を荒らして乾燥した後に塗布します。

注意: 瞬間接着剤は目に入ると危険ですので作業中はゴーグルで目を保護してください。

本製品は組み立てキットとなっておりますので本説明書とイラストを参考にさせていただき正確に作成してください。

組み立て後は、箱絵を元にお好みにデカールを貼ってください。

当デカールは非常に貼りやすく出来ておりますが、曲線部はドライヤーなどで暖め伸ばしながら貼ってください。

また、エキゾーストダミーやキャビン部を艶消しブラック、コックピット内部をニュートラルグレーで塗装することでよりリアルに仕上がりますのでお試しください。塗装は通常のラッカー塗料が使用可能です。

以下は各国語版の説明書イラストに沿って説明します。(P22 ~28)

(pic.01~pic04) 機体付属品一覧

全体の構成パーツです。

欠品しているものがないか確認してください。

・(pic05) ノーズマウントの組み立て

イラストを参考にノーズマウントの各パーツをネジ穴の位置に注意し接着します。

(pic06) メインフレームの組み立て1

イラストを参考にメインフレームを組み立てます。

注意

前項で組み立てたノーズマウントも使用します。
18番のパーツは取り付けの向きに注意してください。
ボディーに仮止めしフレームが正確に組み立てられていることを確認してください。
ボディーにフレームが接着されないように注意してください。
はめ込みづらい場合はプラスチックハンマー等で軽く叩いてください。

(pic07) メインフレームの組み立て2

イラストを参考にメインフレームを組み立てます。

注意

ボディーに仮止めしフレームが正確に組み立てられていることを確認してください。
ボディーにフレームが接着されないように注意してください。
はめ込みづらい場合はプラスチックハンマー等で軽く叩いてください。

(pic08) メインフレームの組み立て3

ここで再度、フレームが正常に組み立てられていることを確認し、イラストで指定されている箇所を接着します。

(pic09) モーターマウントの組み立て1

モーターマウントをネジ穴の位置に注意しながら接着します。

(pic10) モーターマウントの組み立て2

モーターマウントにアルミステーを取り付けます。

3. 2mmのワッシャーをマウント両側に取り付け(M3×16mm)のスクリューで固定します。

注意

ねじロック剤を使用し、しっかりと固定してください。

(pic11) 機体胴体の接着

イラストの接着ラインに従い胴体を接着します。

注意

接着の前に先に(pic18~19)と(pic48)の項目を先に行うことを推奨いたします。
エレベーター、ラダー各サーボを仮付けし延長コードを用い胴体内部に配線を通してください。
また、モーターとアンプも先に取り付けてプロペラの回転方向を予め確認しておくことで容易に組み立てることが可能です。

(pic12) コントロールホーンの組み立て

イラストを参考に各動翼に取り付けるコントロールホーンを組み立てます。

注意
ネジロック剤を添付してください。

(pic13) 水平尾翼の組み立て1

イラストを参考にグラスファイバーロッドを溝の長さに合うようにカットして接着します。

(pic14) 水平尾翼の組み立て2

水平尾翼の動翼両端をカットし、コントロールホーンを接着します。

注意

動翼がスムーズ動くように注意してください。
イラストを確認しコントロールホーンの取り付け向きに注意してください。

(pic15) 垂直尾翼の組み立て

- ・イラストを参考にラダー動翼の端をカットします。
- ・コントロールホーンを向きに注意し接着します。
- ・ボディに取り付けるエキゾーストダミーをイラストの破線を元に垂直尾翼より、カットします。

注意

垂直尾翼を胴体に接着する際に約3ミリのクリアランスが必要になりますのでエキゾーストダミーを切り離す際はイラストのように3ミリ残してカットしてください。

(pic16) 水平尾翼の取り付け

イラストを参考に胴体に水平尾翼を接着します。
正確に水平が出るように接着してください。

(pic17) 垂直尾翼の取り付け

イラストを参考に胴体に垂直尾翼を接着します。
正確に垂直が出るように接着してください。

(pic18) ラダーサーボの取り付け

イラストを参考にラダーサーボを取り付けます。

胴体内に延長コードを使用しサーボの配線を通します。

注意

取り付けにはホットメルトボンド、又は高粘度の瞬間接着材を使用してください。

サーボを受信機に接続する際はニュートラルを正確に出してください。

(1.5 × 80mm) のリンケージを使用します

(pic19) エレベーターサーボの取り付け

イラストを参考にエレベーターサーボを取り付けます。

胴体内に延長コードを使用しサーボの配線を通します。

注意

取り付けにはホットメルトボンド、又は高粘度の瞬間接着材を使用してください。

サーボを受信機に接続する際はニュートラルを正確に出してください。
(1 × 50mm) のリンケージを使用します

(pic20) ウイング取り付けアッセンブリーの組み立て1

1 33のバルサスペーサーを32のプレートの両側に接着します。

2 イラストを参考に44の取り付けナットを押しこみ接着します。

注意

プラスチックハンマーや万力等を使用しプレートが割れないように可能な限り奥に差し込んでください。

(pic21) ウイング取り付けアッセンブリーの組み立て2

イラストを参考に接着します。

注意

44の取り付けナットが下になるように接着してください。

(pic22) 主翼の組み立て1

主翼のセンターフレームの溝に合うようにウイング取り付けアッセンブリーを差し込み接着します。

(pic23) 主翼の組み立て2

フレームの穴にカーボンスパーク差し込みます、正確にセンター位置に移動させ接着します。

(pic24) 主翼の組み立て3

両主翼パーツをセンターフレームの溝に合うようにしっかりとはめ込みます、正確に取り付けた後、接着します。

(pic25) 主翼の組み立て4

両主翼部の溝に適正長さにカットしたグラスファイバーロッドとカーボンスパーをはめ込み接着します。

(pic26) エルロンサーボの取り付け

1 エルロンサーボをイラストを参考に取り付けます。

サーボを受信機に接続する際はニュートラルを正確に出してください。
(1×50mm)のリンケージを使用します。

(pic27 28) ランディングベースの組み立て

イラストを参考にランディングベースを二つ作成します。

組み立て後は、主翼ランディングギア取り付け部の溝に合うように接着します。

(pic29) 左ランディングスキッドの組み立て

62番のLマークに穴を開けこの穴より58番を差し込みます。

注意
イラストを参考に各パーツの向きに注意してください。

(pic30) 右ランディングスキッドの組み立て

62番のRマークに穴を開けこの穴より59番を差し込みます。

注意
イラストを参考に各パーツの向きに注意してください。
(pic31) ランディングカバーの取り付け

(2. 9×9. 5)のスクリューでカバーを固定します。

(pic32) ランディングスキッドの取り付け

ランディングスキッドをランディングベースの溝に合わせ向きに注意して固定します。

(2. 9×9. 5)のスクリューで取り付けます。

(pic33) ランディングホイールの取り付け

68番のホイールスペーサーをホイールの両側に取り付け69番の芋ねじで固定します。

ホイールがスムーズに回るように取り付けてください。

注意

ホイール成型時に使用する白い粉末が付着しタイヤが白くなっている場合がありますが、こちらは製品の異常ではありません。
ブレーキクリーナー等を少量付け吹きとることが可能です。

(pic34 35 36 37) ノーズランディングギアの組み立て

イラストを参考にランディングスキッドにスキッドベースを差し込み上下に68番のスペーサー取り付け、69番の芋ねじで固定します。

スキッド最上部には65番コントロールホーンを取り付けます。

接地の長さは(pic37)の通り100mmに合わせます。

(pic38.) ホイールの取り付け

イラストを参考にホイールを取り付けます。

(pic39) リンケージの取り付け

65番のホーンとホイールが90度になるようにここで機械的ニュートラルを出します。

(1.5 × 151mm)のリンケージを使用します。

(pic40) ノーズランディングギアの取り付け

66番の(3.0 × 16)のスクリューで固定します。

(pic41 42) 前輪操舵用サーボの取り付け

イラストを参考に胴体前方の左側の搭載スペースに Tiny S MG (メタルギア)サーボを固定します。

ここで前項で組み立てたリンケージを軸受けに通しホイールのサーボニュートラルを出してください。

(pic43 44) キャビンの組み立て 1

イラストを参考に組み立てます。

(pic45 46 47) キャビンの組み立て 2

カットラインに合わせキャノピーをカットします。
最終的にはキャビンの形状に合うように微調整しながらカットしてください。

キャビンが完成したら取り付けマグネットをフレームとキャビンの指定の位置に差し込み接着します。

イラストを参考にキャビンの枠を艶消しブラック、コックピット内部をニュートラルグレーで塗装することでよりリアルに仕上がりますのでお試しください。塗装は通常のラッカー塗料が使用可能です。

(pic48) モーターの取り付け

モーターセットに含まれる(M3 × 10mm)のスクリューでモーターをマウントに取り付けます。

次に、(M3×16mm)のスクリューでモーターをフレームに接続します。

(pic49 50) プロペラの取り付け

1 スピンナーシャフトをモーターシャフトに差し込みます。

外れないようにここで高強度ネジロック剤を使用することを推奨します。

2 固定カップリング→プロペラ→プロペラベース→ナットの順に取り付け、しっかりと締めつけます。

ここでもナットをねじロック剤を使用して固定してください。

最後にスピナーをはめ込みます。

注意

プロペラは市販のプロペラバランサーを使用しバランスを合わせることを推奨します。

(pic51) エキゾーストダミーの取り付け

(pic15)でカットしたエキゾーストダミーをさらに半分にカットし胴体に接着します。

(pic52)

推奨のメカを搭載していただき各サーボの配線を行ってください。

注意

・サーボ接続の際は接続するCHとプラス、マイナスにご注意ください。
(サーボコードの茶色がー赤が+オレンジが信号線となります。)

・ESCを接続しモーターの動作を確認する際は安全のためプロペラを外してください。

・仮にESCが最スローを認識せずにモーターが回らない場合は送信機のTHRのEPAを調整し上下の幅を大きくしてください。

・Abb43 重心位置

重心位置は主翼付け根で前縁から90mmに合わせてください。
バッテリー等を移動して合わせてください。

エルロン、エレベーター、ラダーの動作量です。

エルロン 上15mm、下12mm

エレベーター 上10mm下8mm

ラダー 左右15mm

ノーズホイール 左右8mm

こちらの数値は各舵のおおよその最大動作量を示します。

送信機のEPA設定を行い正しく設定してください。

EPAの設定でうまく調整できない場合は各リンクージを機械的に調整してください。

重心位置は主翼の前縁から90mmです。印を主翼につけてフライト前に確認してください。

販売元: **株式会社 ハイテックマルチプレックスジャパン**

〒133-0057 東京都江戸川区西小岩1-30-10 1F

電話: 050-5519-4989

受付時間: 月曜日～金曜日(祝祭日・夏期休暇・年末年始を除く)

10:30～12:30、13:30～16:30

お問い合わせフォーム: <http://hitecrd.co.jp/mailform/>

当製品は改良の為に予告なく内容を変更することがあります、予めご了承ください。